

2015年11月8日 (日曜日) 足立区総合防災訓練 医療救護活動訓練が行われました。

今回は、「東京湾北部地震 M7.3 冬の朝」を想定し、地震発災直後の動きから、緊急医療救護所の設置、その後の負傷者受入れ、トリアージと処置・治療、外部機関との通信図上訓練を行いました。

※大規模災害時、災害拠点病院等では、病院前に緊急医療救護所が設置されます。

職員だけではなく、他の12医療機関の医師・看護師・薬剤師・事務員、足立区医師会、足立区薬剤師会、柔道整復師会足立支部、また、一ツ家2丁目・3丁目・4丁目、六町2丁目の住民の方々、足立消防の方々、帝京科学大学の学生の方々、足立区、総参加人数約300名のご協力のもと行われました。

トリアージの様様



トリアージは雨の中でしたが、外で行われました。



負傷者への処置をする模様



停電の設定で薄暗い中、各々役割りを果たしました。



慌ただしく重症者が受入れ・搬送されます。

薬が必要な方には、十分な量ではありませんが、薬が渡されます。



病院側の対策本部と区の災害対策本部の通信訓練



他医療機関とのやりとりは区の災害対策本部・災害医療コーディネーターを通して行われます。

今回は、足立区の総合防災訓練との合同訓練として多数の機関、団体の方々と共に取り組みました。災害時に対応出来る医療体制を提供出来るよう、災害に備え、毎年、医療救護活動訓練を行っています。